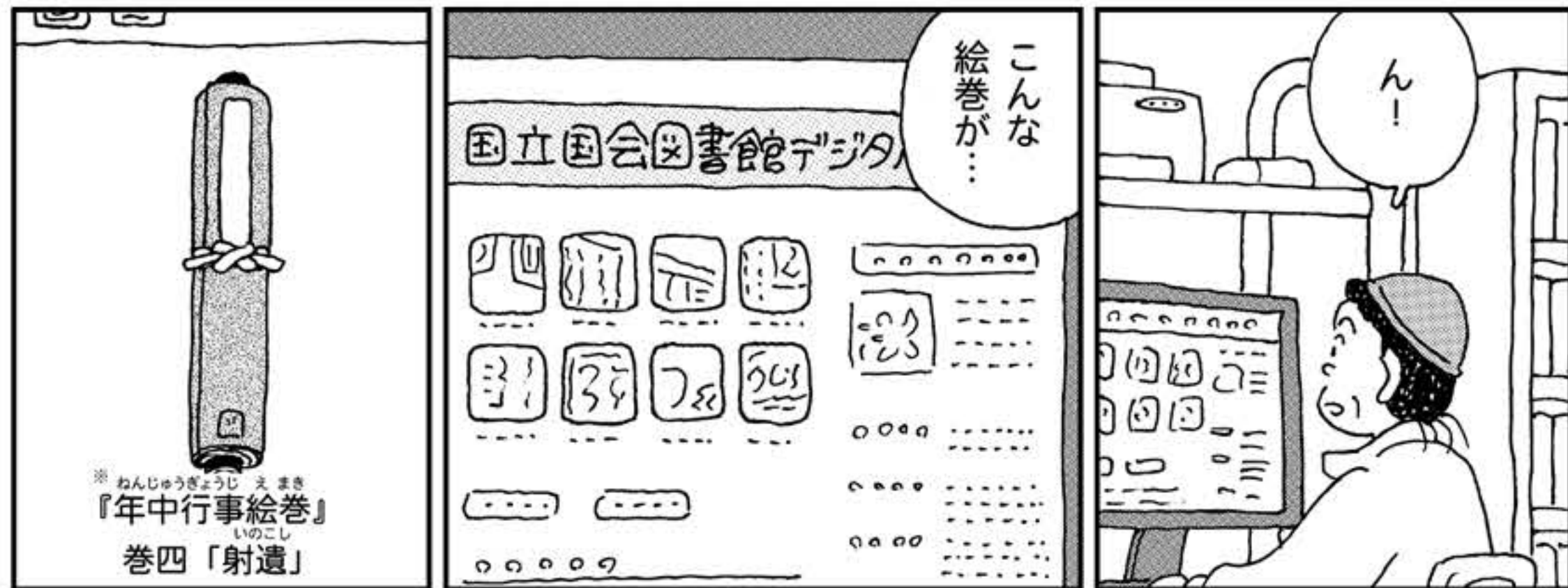
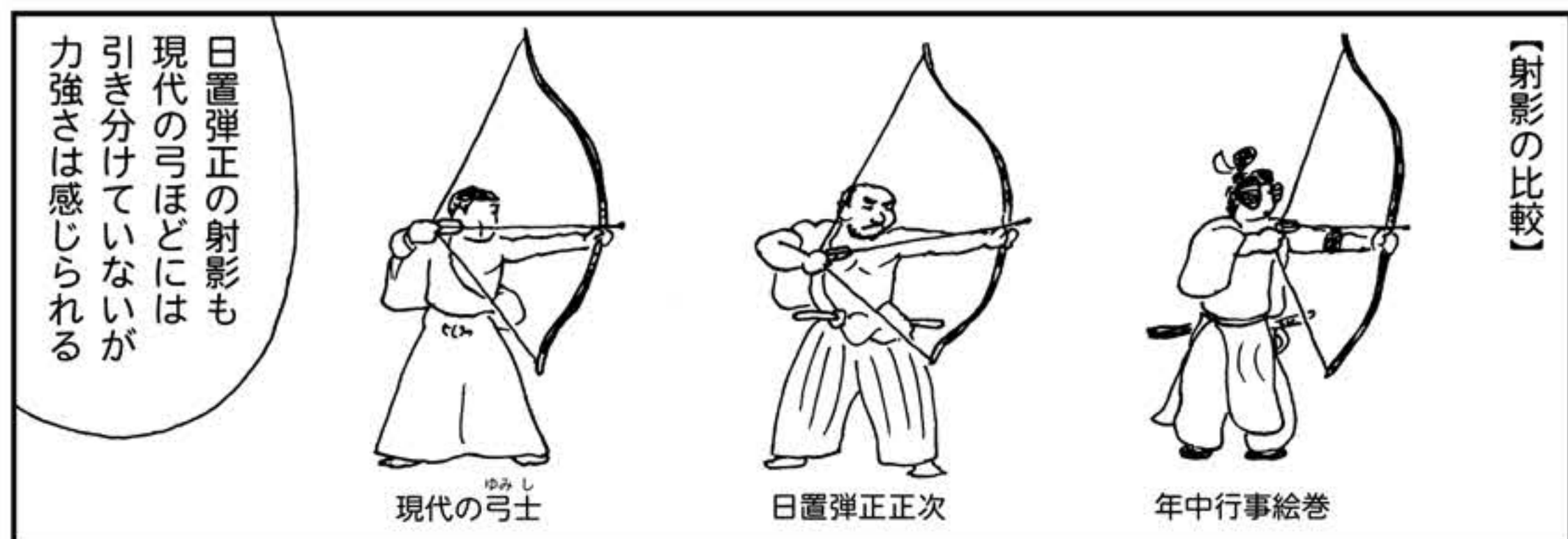
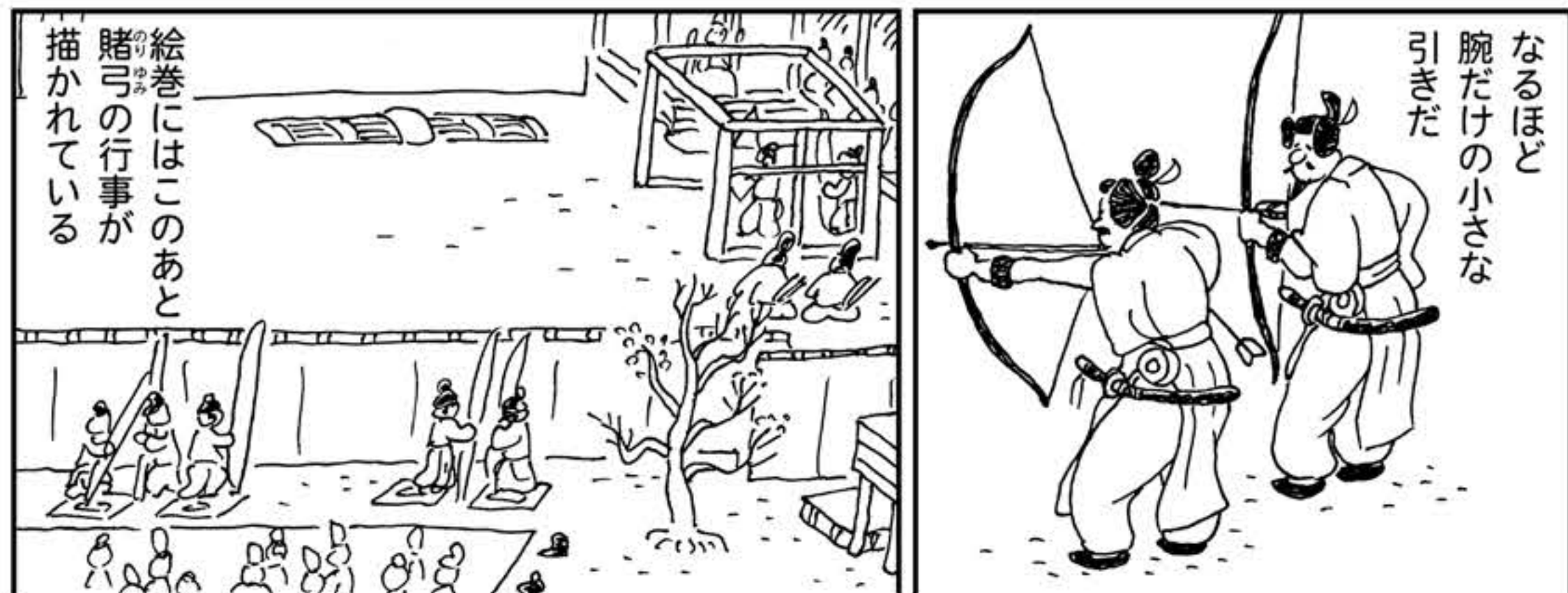
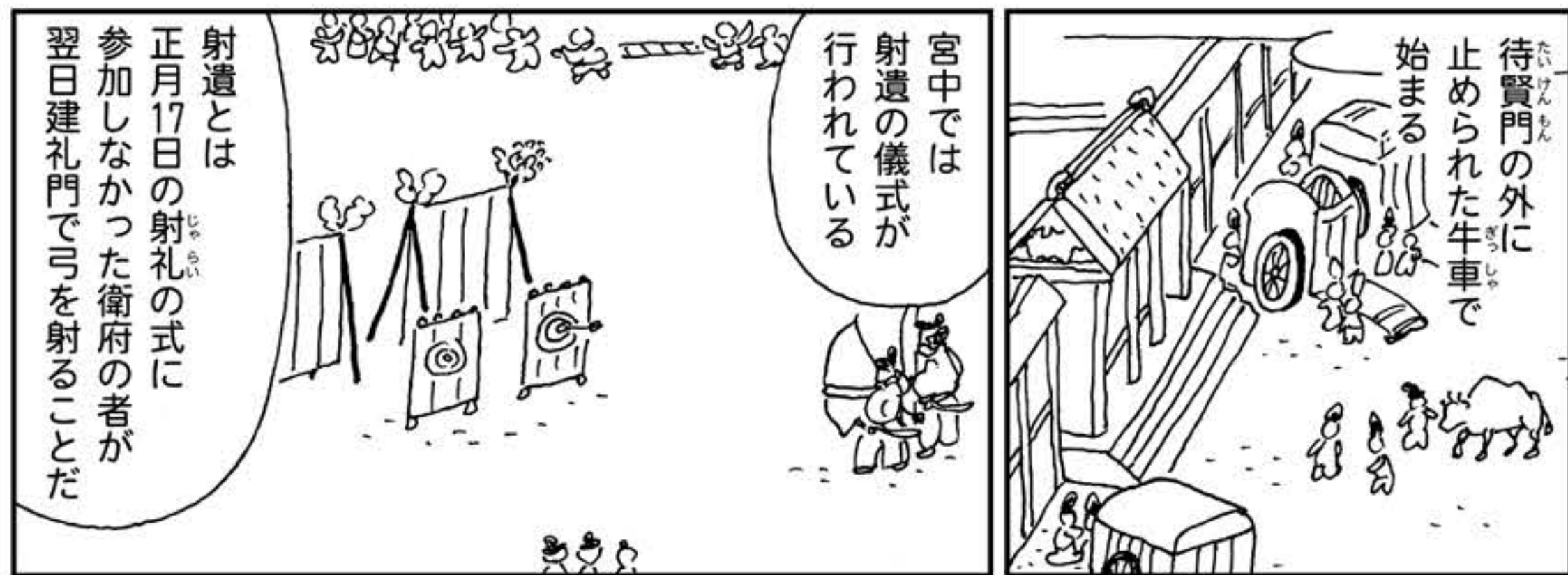


※『年中行事絵巻』は平安時代末期の宮廷の儀式、祭事などを描いた絵巻。国立国会図書館サイトでWEB閲覧できる。



※ ねんじゅうじょうじ えまき
『年中行事絵巻』
巻四「射遺」



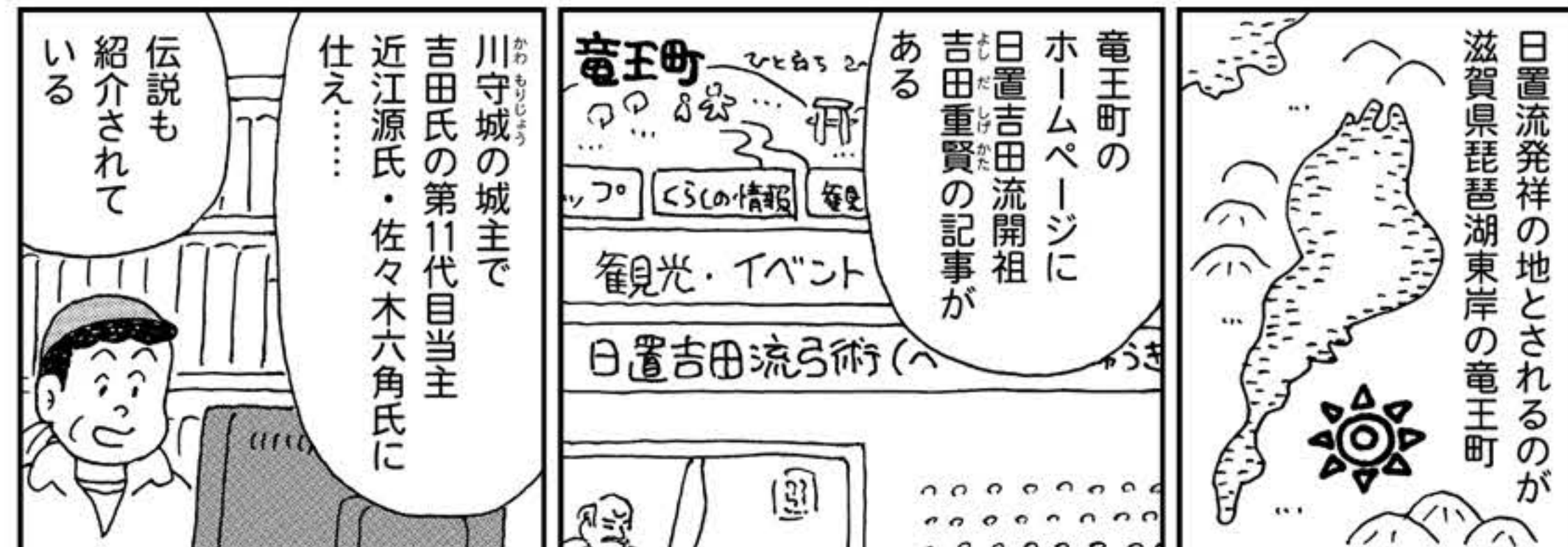
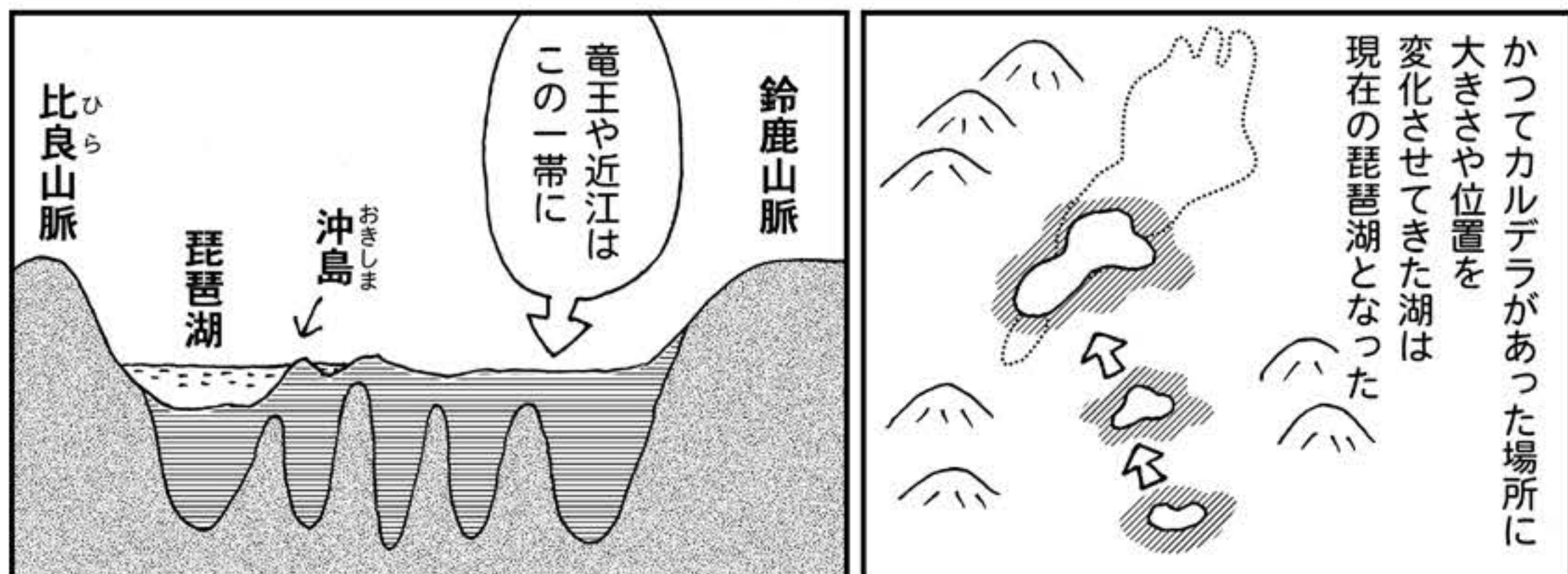
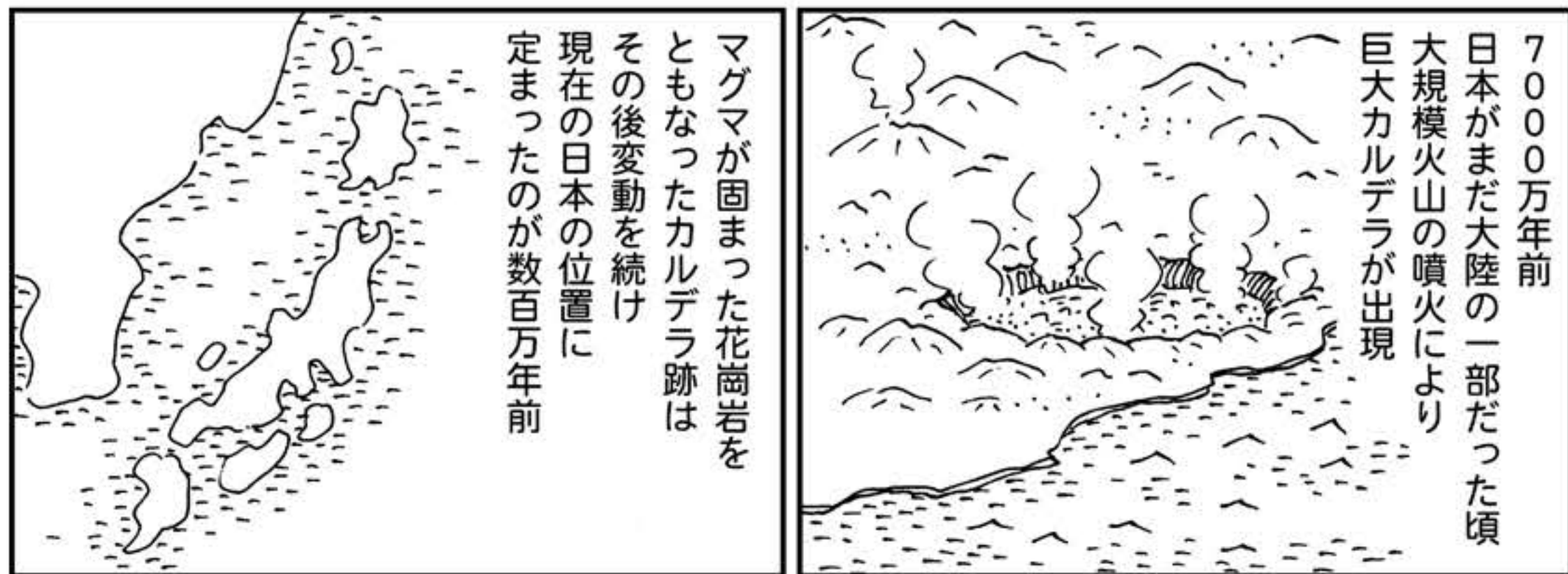
日本
武道
風土記

日置流弓術の地 近江・竜王町

【第一回】日置弾正正次

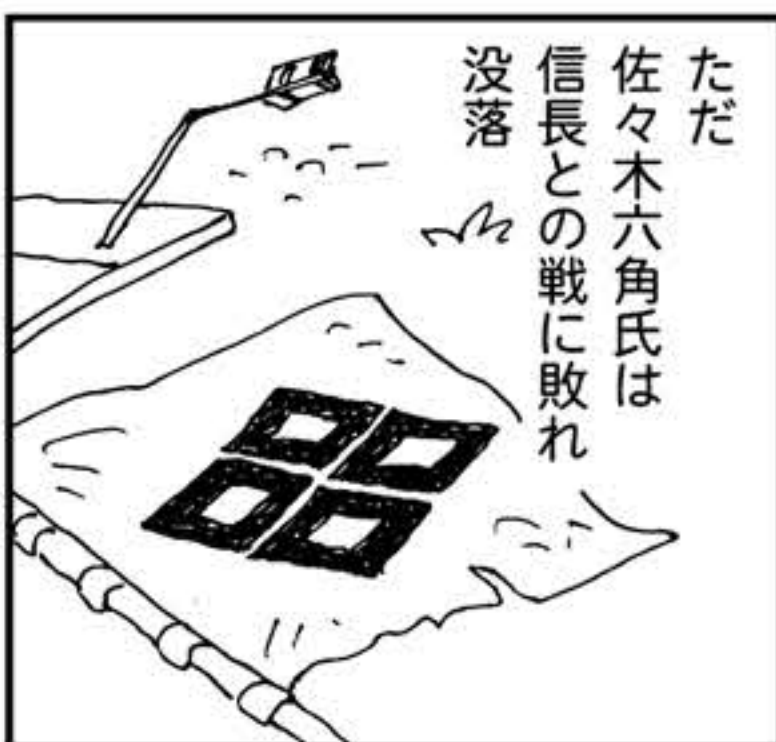
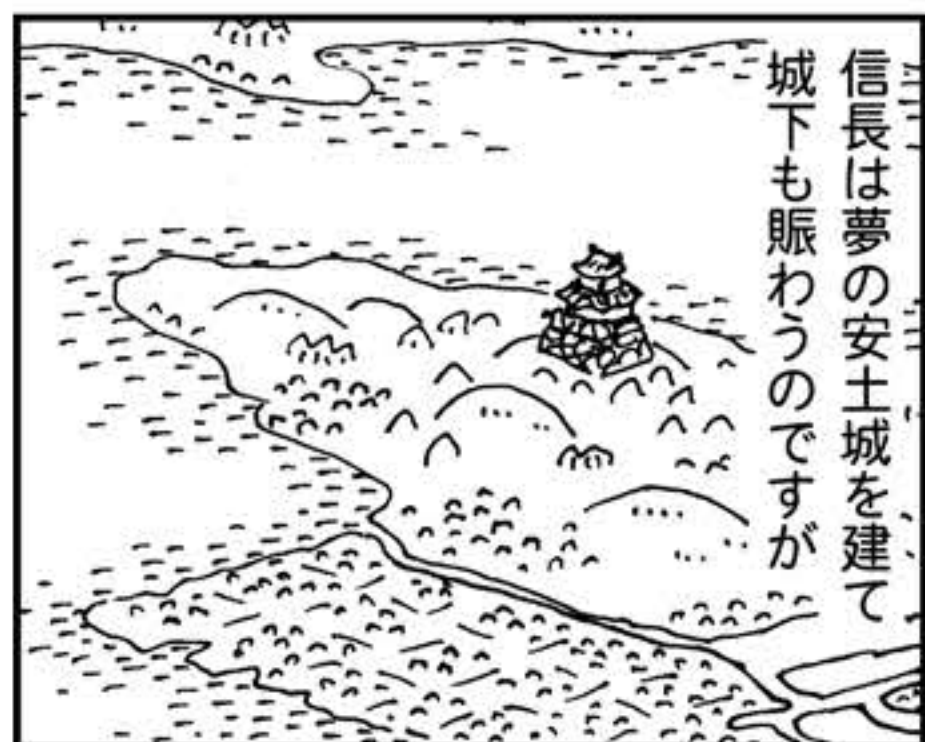
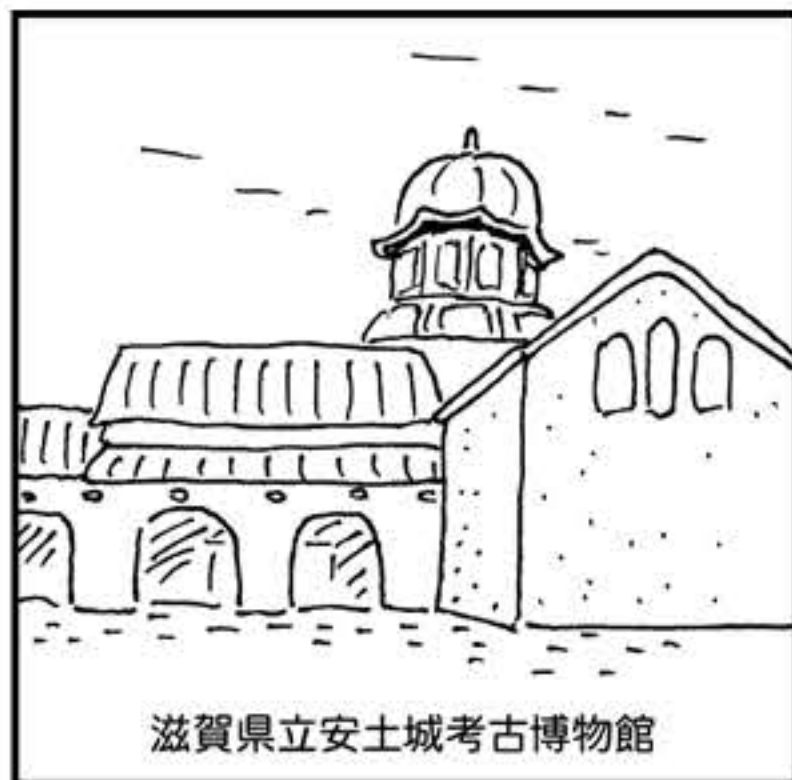


※射影＝弓の弓の形

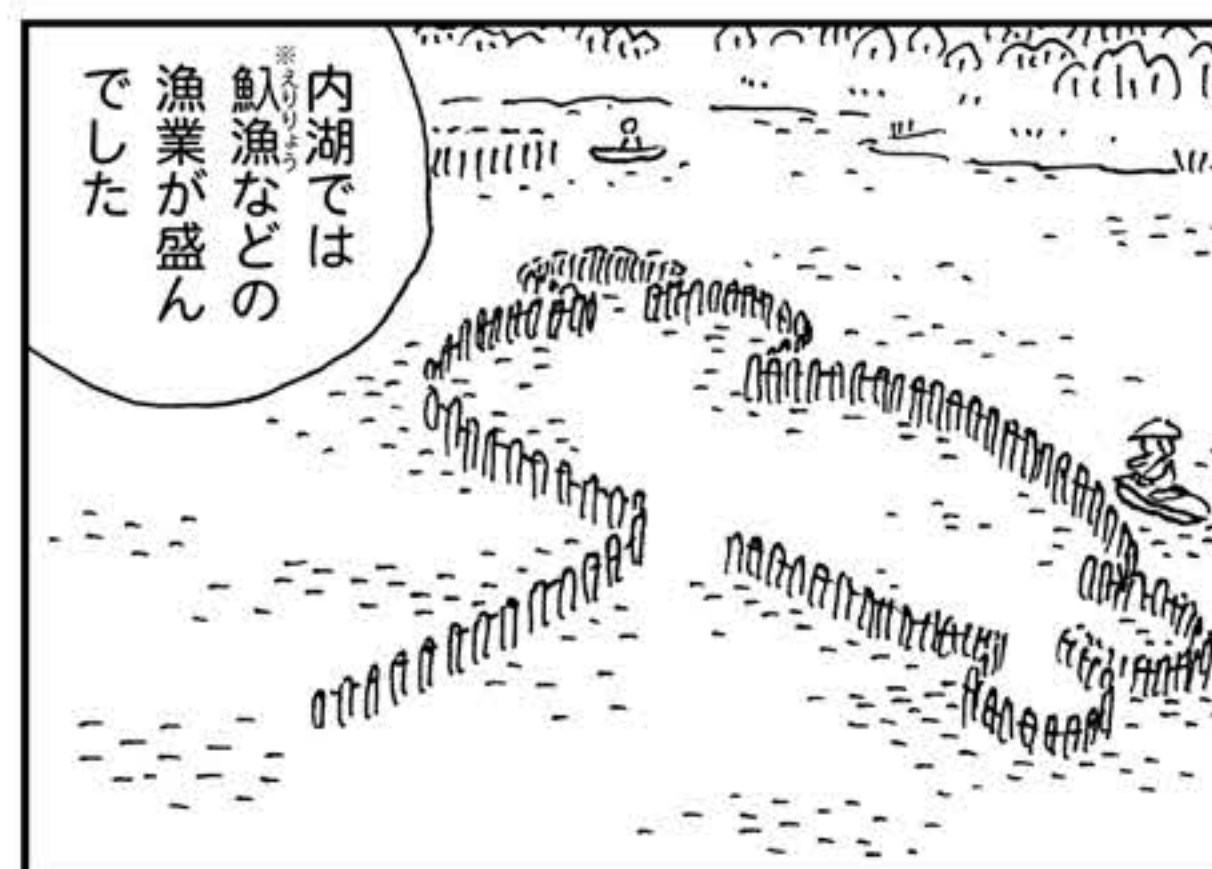




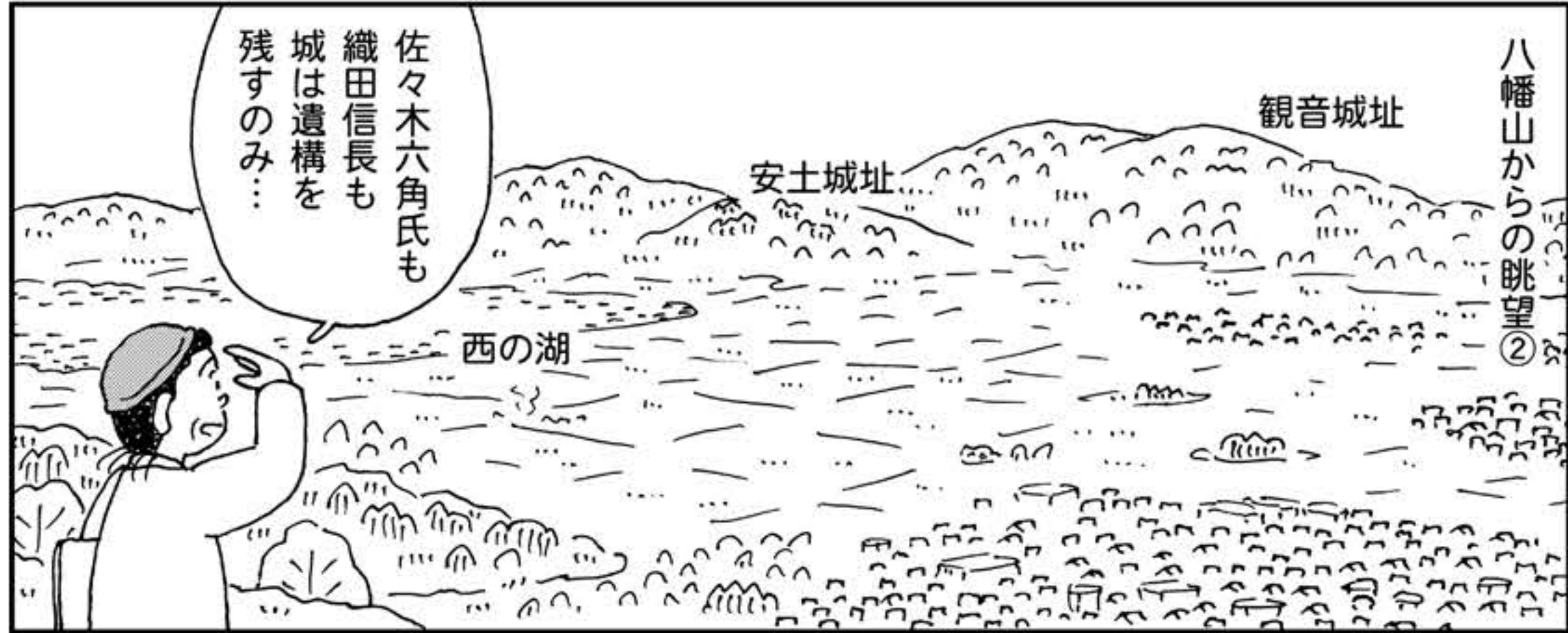
古代から
近江は交通の
要衝でした



お聞きしたいのが
日置吉田流弓術を
伝承した吉田家
について…



※鮎魚＝竹、ヨシ、木杭などで魚を網にかかるといった誘導する漁法



日置弾正正次の重臣

日置流弓術は分派を繰り返しながら確かに全国に広まっていく

日置弾正正次 重臣

- 佐々木義賢 (重臣)
- 五木院
- 池田三右衛門
- 重勝 (重臣)
- 重勝 (重臣)
- 元尚 (津本派)
- 元敏
- 元真
- 伴正司 (武道派)
- 曲直隆 (出羽派)
- 方重
- 長女
- 吉田源八郎重氏 (印西派)
- 吉田五兵衛定勝 (印西派)
- 吉田吉兵衛 (吉田派)
- 重納 (出羽派)
- 池田政
- 菅野
- 菅野 (近衛門)
- 方重
- 方重 (大蔵派)
- 方重

一つつくー



※被官人：武家や寺社の家臣・奉公人など



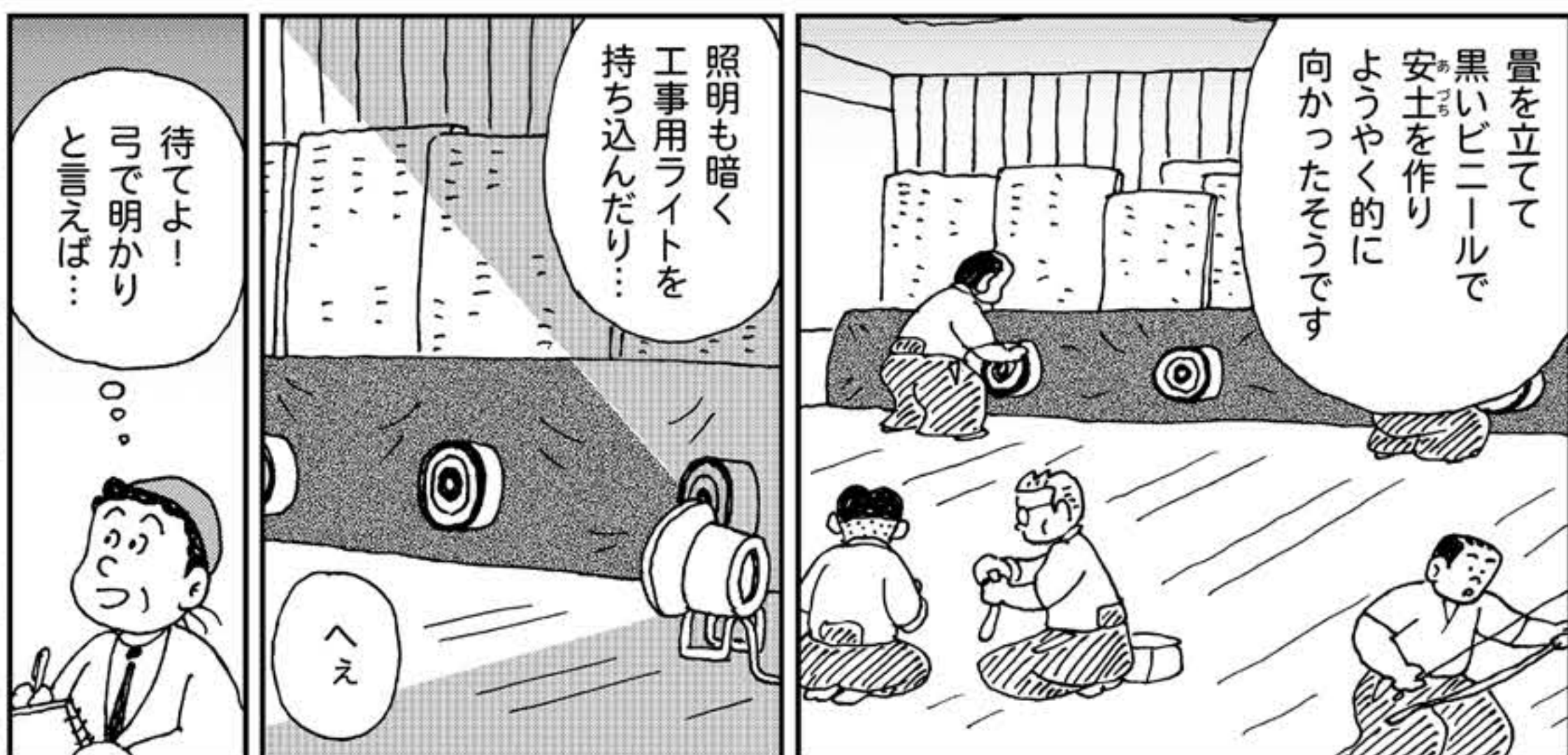
■安土城関連ミュージアム

「滋賀県立安土城考古博物館」は、安土城跡、観音寺城跡、瓢箪山古墳、大中の湖南遺跡の4件の史跡などの調査研究と普及活動を行う拠点施設。

隣接する「安土文芸の郷」には、安土城の最上階2階を展示する「安土城天主信長の館」や音楽ホール「文芸セミナーヨ」などがあり、近江八幡市安土町の総合文化施設となっている。

また安土駅近くには安土城天守閣20分の1のひな形や資料を展示する「安土城郭資料館」もある。



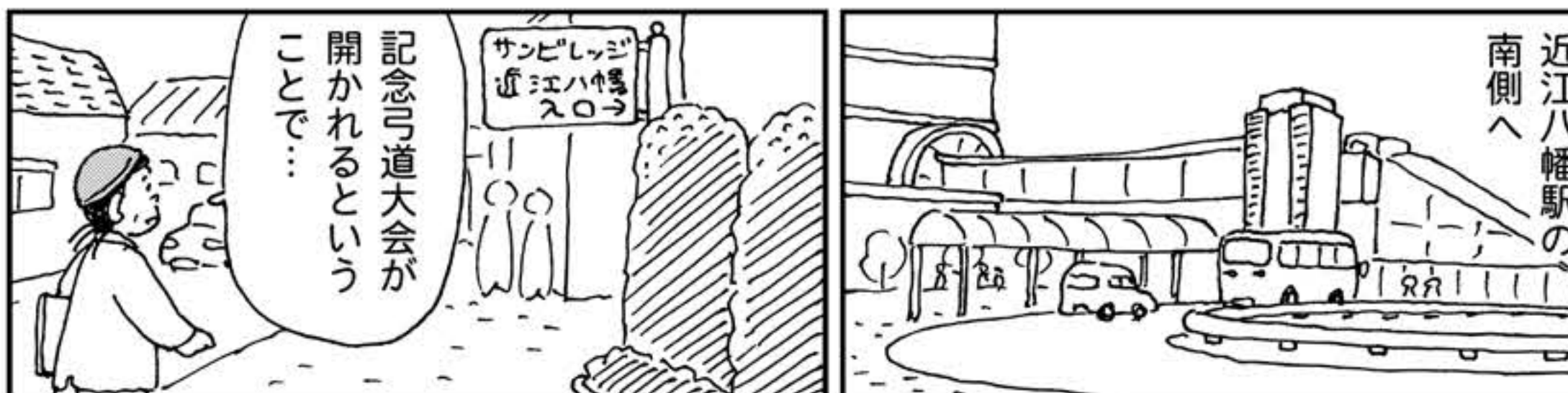


※小西廣之は昭和39年から選手として5年、その後監督として5年、国体弓道滋賀県代表として活躍。弓道八段

日本武道風土記

日置流弓術の地 近江・竜王町

【第二回】近江八幡市弓道協会





平成21年(2009)に
弓道場の10周年記念大会を
予定していたところ

大変だ

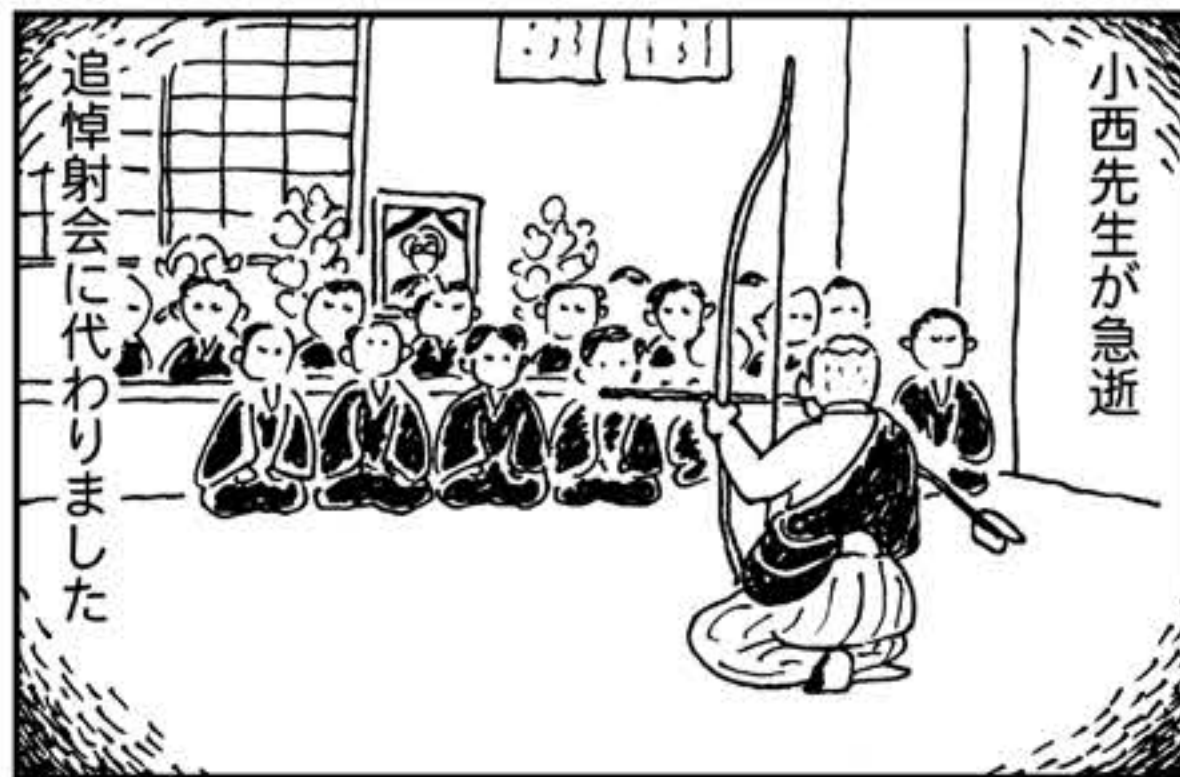
弓は楽しんで
引くんだと
教えられましたね

小西先生は
一見怖そうなんです
が
気遣いが細やかで
陽気に皆を笑わせて
くださいました



今回20周年で
ようやく
設立記念大会を
開くことが
できた...

10年待った
リベンジの
記念大会
なんです



小西先生が急逝
追悼射会に代わりました



◆開会式◆

近江八幡市弓道場10周年記念大会
サン・ビレッジ近江八幡20周年記念大会

それでは
これより



弓道は
少子高齢化の時代に
幅広い年齢層に
楽しんでいただける
武道だと思います

益々の発展を
期待しています

近江八幡市
小西 理市長



◆来賓祝辞◆
よく歴史を
積み重ねて
こられました

今日は私も
大いに楽しんで
引かせてもらいます

公益財団法人 全日本弓道連盟
中野 秀也 会長



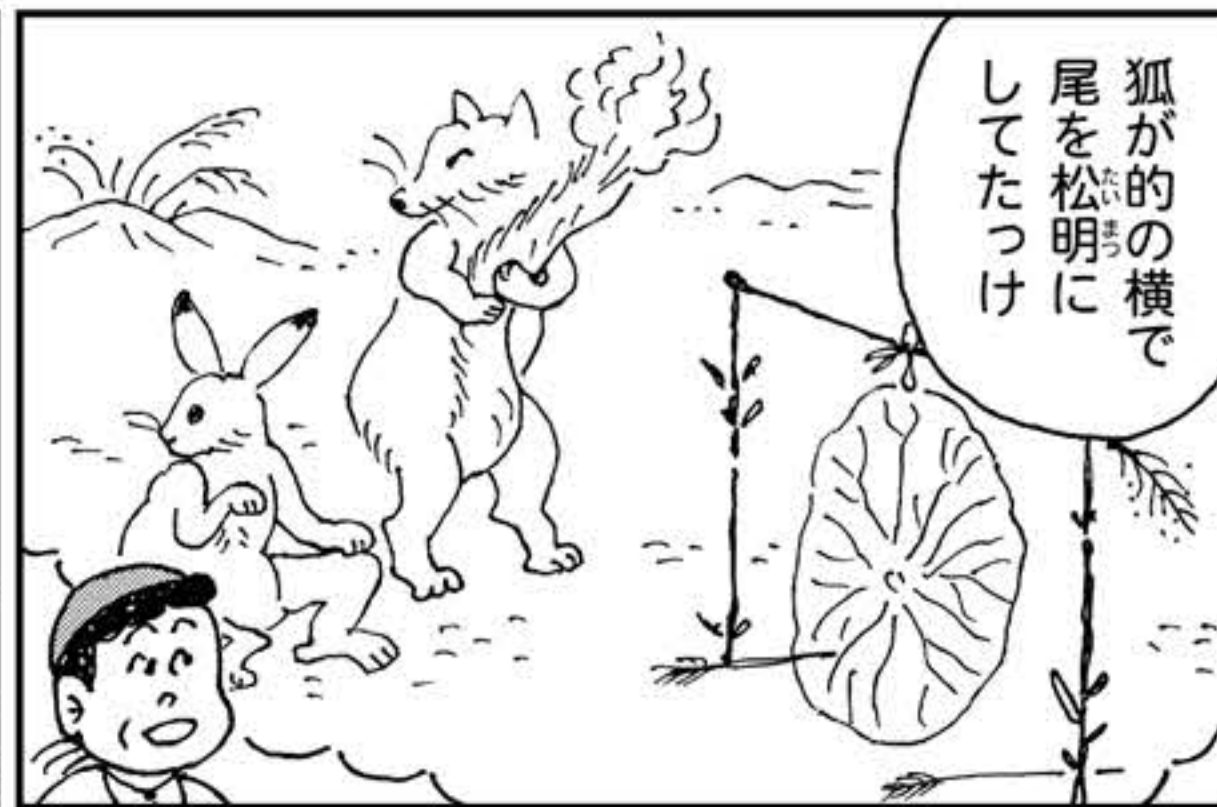
『鳥獣人物戯画』

私が別府大学の
「マンガ概論」の
講義で取り上げた
定番の絵巻物だ

甲巻に賭弓のエピソードが
描かれている



会長も
ご苦労
されたの
ですね



狐が的の横で
尾を松明に
してたっけ



私は
弓道場完成後の
弓道教室で
弓を始めました
ので

私たち
弓道教室の
第一期同期生
なんです



いや、
してま
せん

あれ?!

※中野会長は月に一度、近江八幡市弓道場で指導に当たっている

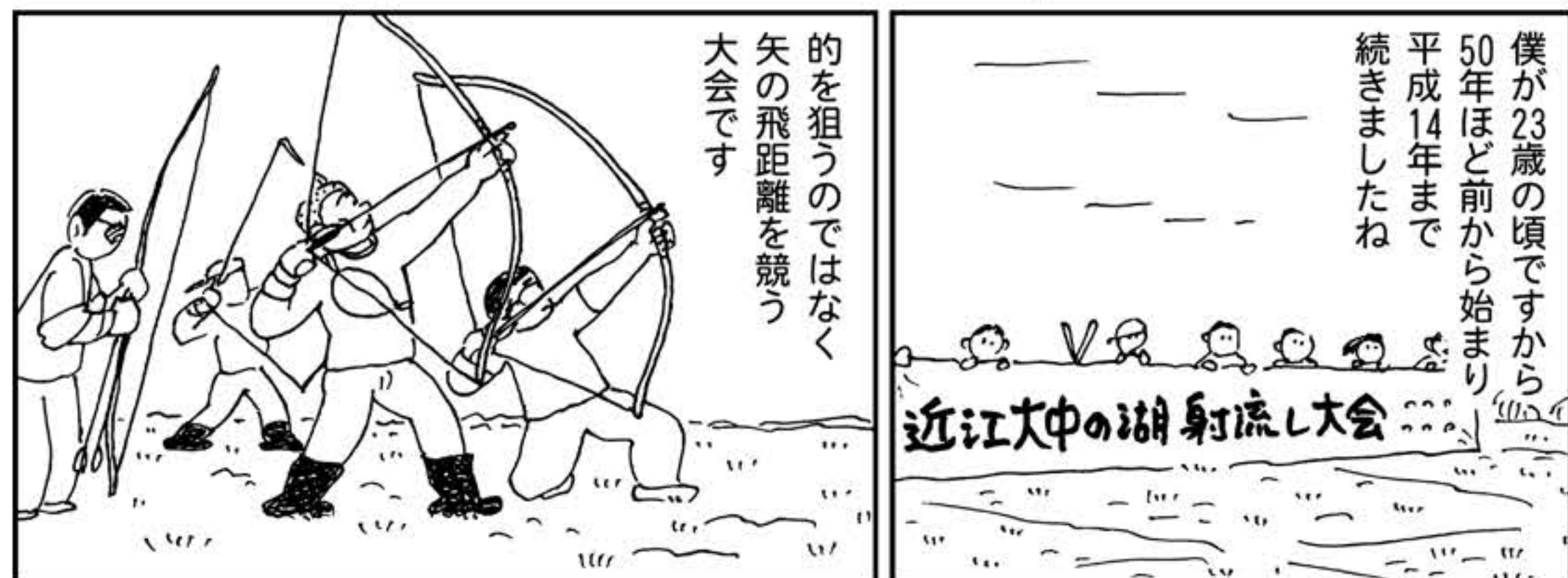


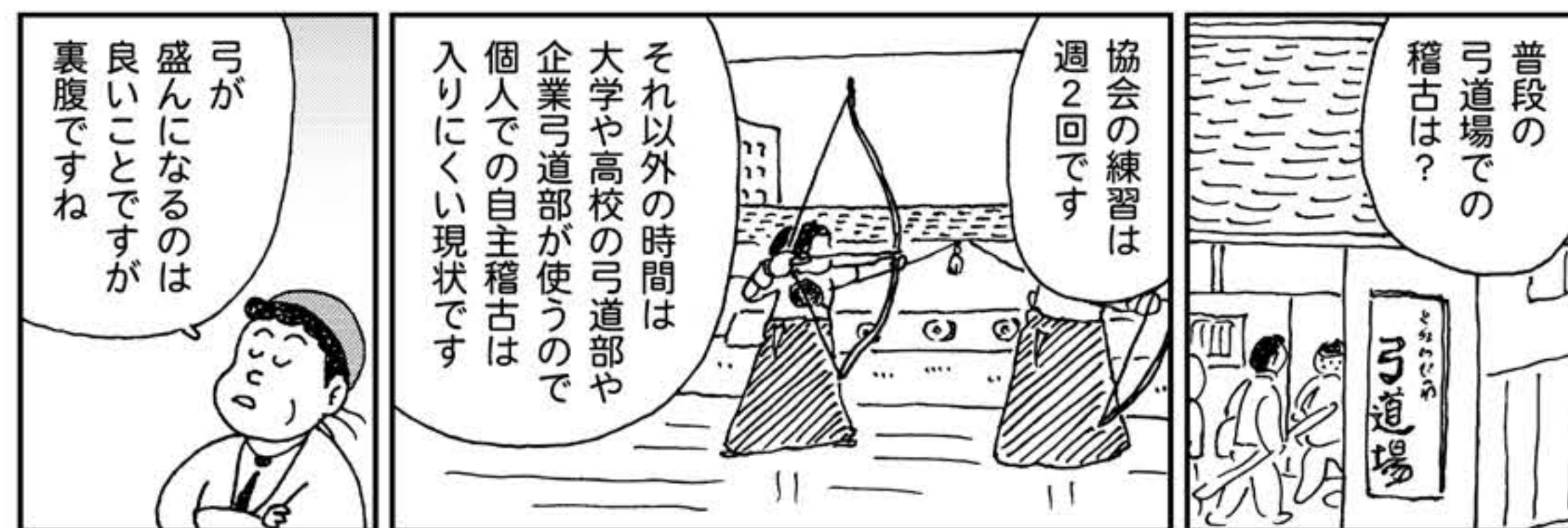
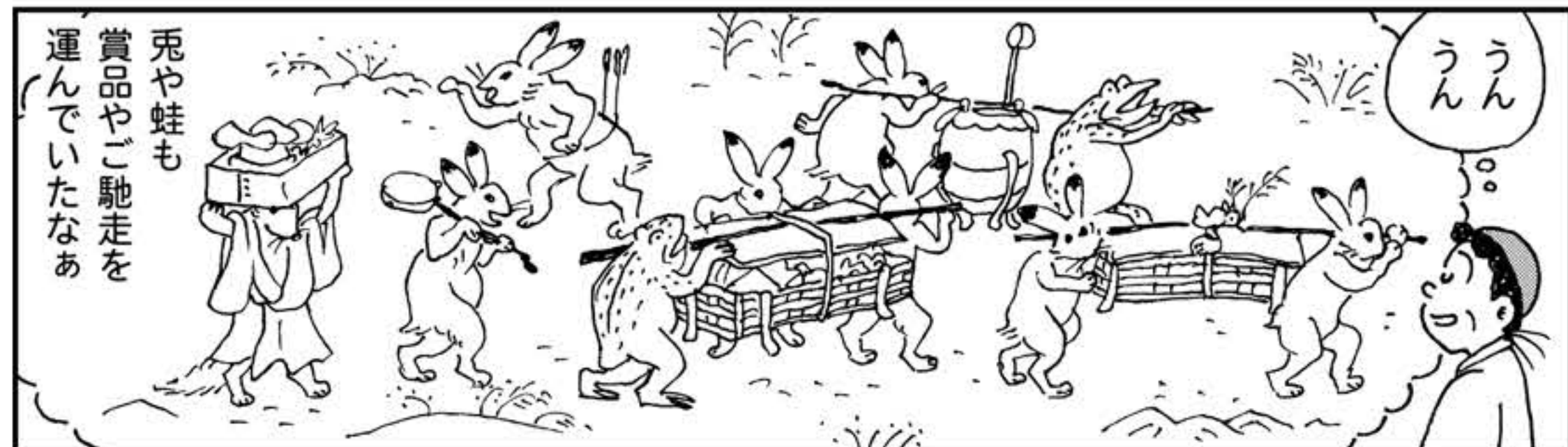
小西名誉会長は
道場には皆勤で
会員は皆
指導を受けました



そう
だったん
ですか

平成10年(1998)
「サン・ビレッジ近江八幡」が完成
平成11年(1999)
「近江八幡市弓道場」が竣工
初心者向けの弓道教室を開講







2017年10月9日 竜王町 射流し大会



■地域おこし協力隊
 人口減少や高齢化が進行する地方で、地域外の人材に地域協力活動を行ってもらいその後の定住・定着により地域力の維持・強化を目指す総務省管轄の制度。
 中村匡希さんは高校時代から弓の経験があり、「弓道での町おこし」をプレゼンして竜王町で採用された。2018年3月で3年の委嘱期間が終わり、現在は竜王町に定住し、古民家リノベーションで学んだ技術を活かし左官業で生計を立てている。



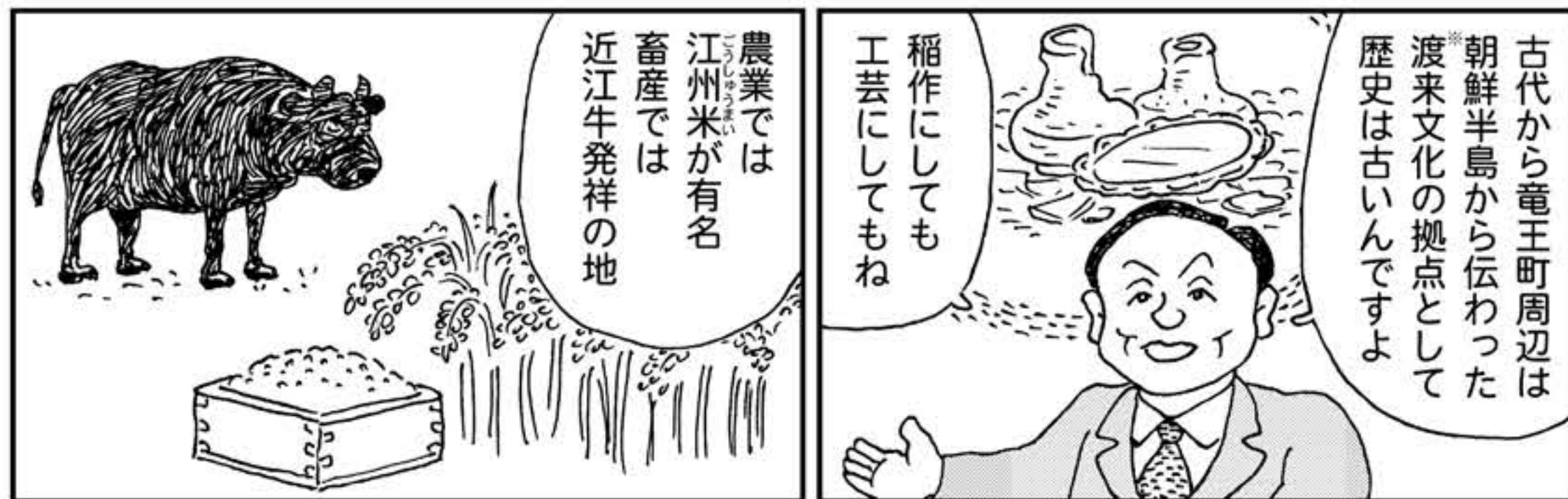
日本
武道
風土記

日置流弓術の地 近江・竜王町

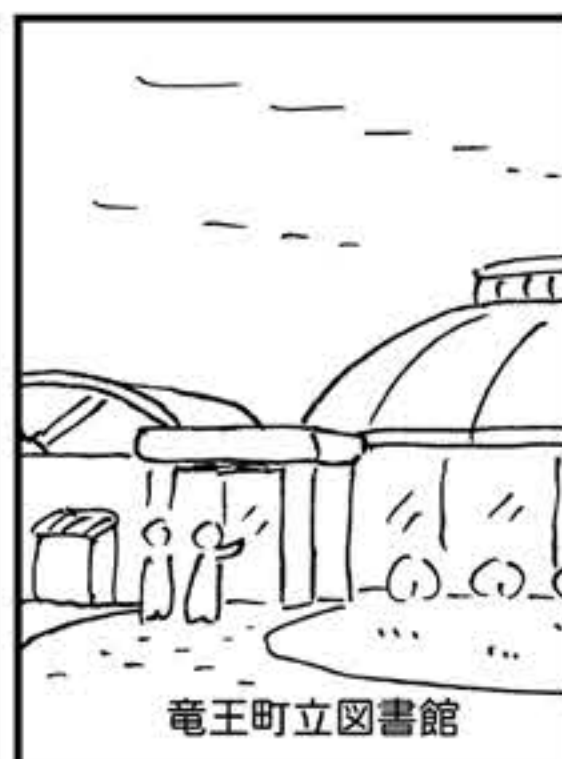
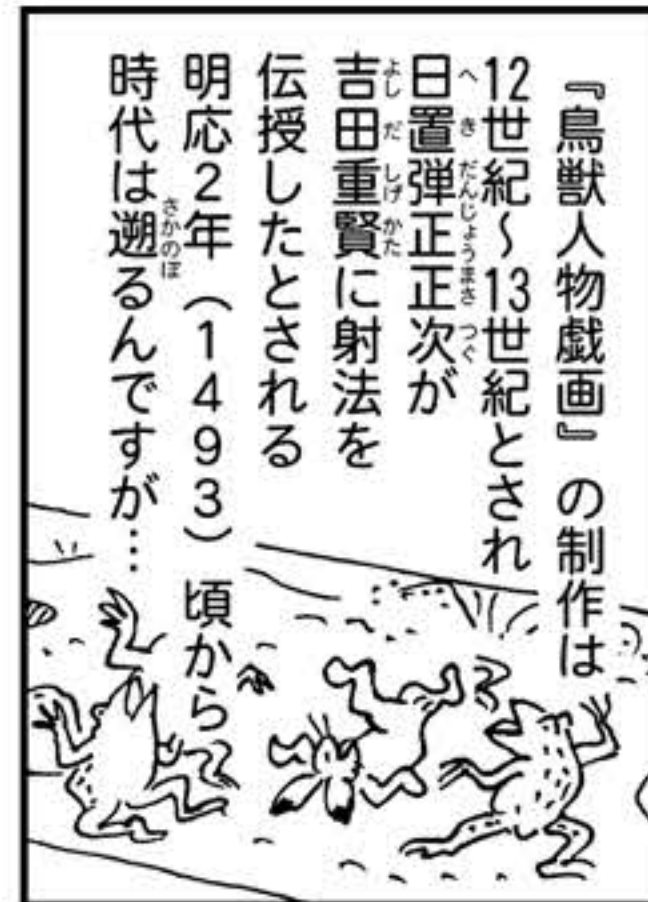
【第三回】日置吉田流弓術



取材とマンガ 田代しんたろう



※竜王町内には、鏡、須恵、薬師、三削、綾戸など渡来文化に由来する地名が残る。





日置流は日本の弓の元やねんで



絹枝さん

はい

主人のお父さんは資料の保管とか熱心にしてはって

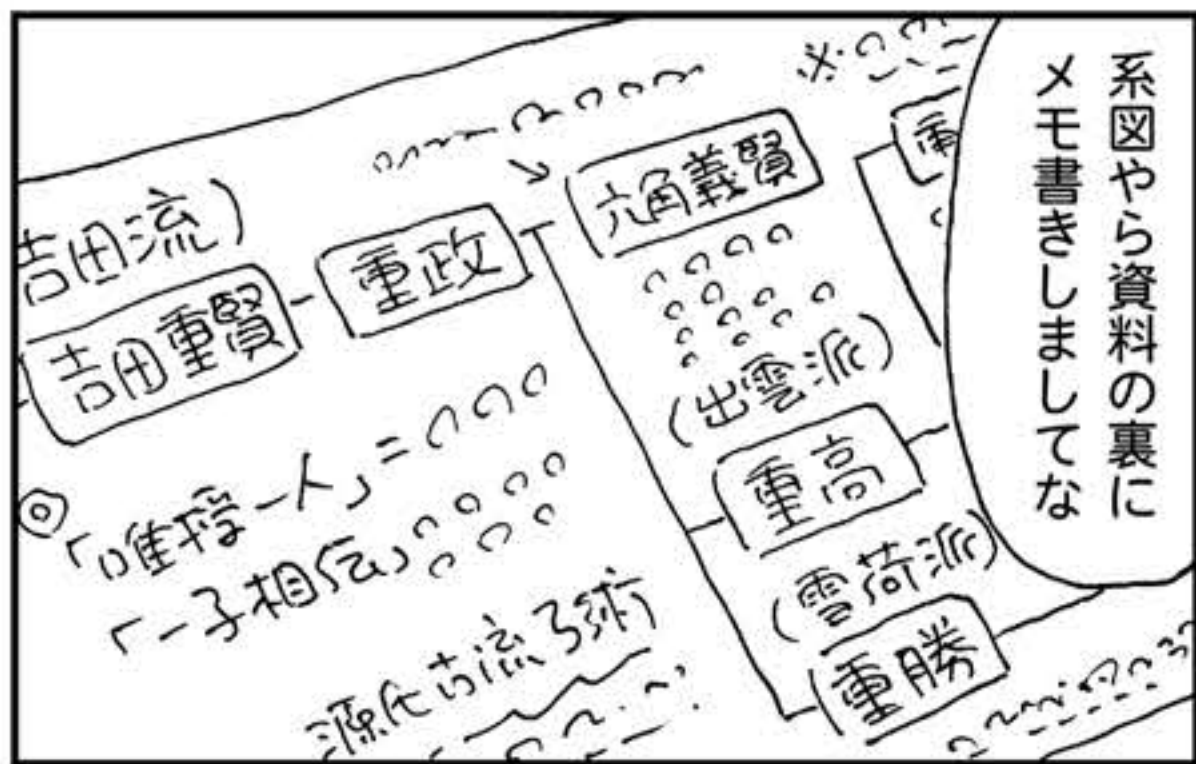


留夫さん仕事で忙しいからなわたしがやらんといかんかなあ



これが吉田家の系図でな

はい



それで、龍王歴史倶楽部に入ったりして勉強しましたん

系図やら資料の裏にメモ書きしましたな



佐々木義賢は重政の息子の重高を自分の養子として秘伝を返す…か

ふ



吉田重賢の息子の重政が主家の佐々木義賢から秘伝を伝授してほしいと迫られるけど一子相伝の掟を守ってみずから越前一乗谷に引きこもり…

数年後朝倉義景のとりなしで二人は養子縁組を結び佐々木義賢は奥義を受け継ぐ



ここは館跡でお城は野寺城といってあそこの雪野山の尾根にありました



ここ一帯が吉田重賢居宅跡になります



はいはい中村さん

吉田家36代 吉田留夫さん 絹枝さんご夫妻



こんにちは



すぐ裏に吉田家を継がれているお宅があります



ここ全体が堀に囲われた館やったわけ

昔は県道はなくてね



地図がありますよ



館跡の敷地内なんだあ



あらウチの裏です

あれ！今日の僕の宿はあの八幡屋さんです

※龍王歴史倶楽部・龍王町公民館の学習グループ。ボランティアガイドもする。

※松瀬酒造の「松の司」は竜王町の地酒

